

# 朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校 および総合体育場の整備等を考える会

---

(第2回学校施設検討部会)

## <次第>

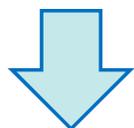
1. 本日の議題および今後の進め方
2. 子どもワークショップ実施状況の報告
3. 小中連携教育について
4. 池袋中学校ブロックについて
5. 西巣鴨中学校ブロックについて
6. 今後の取組みに関する意見交換

# 1. 本日の議題および今後の進め方

## 第2回学校施設検討部会 (9月4日)

小中連携について

- ・教育ビジョン2025
- ・池袋中学校ブロック
- ・西巣鴨中学校ブロック



西巣鴨中学校ブロック  
意見交換

## 第3回学校施設検討部会 (未定)

新しい学校施設の検討

- ・配置案  
機能  
地域で大切に  
したいこと 等



施設面で反映

## 2. 子どもワークショップ実施状況の報告

### <子どもワークショップの取組み>



- ①学校の好きなところ・あたらしいなと思うところ
- ②学校とスポーツ施設が一緒になってできそうなこと

「明日も行きたくなる学校」  
について3校の代表の子ども  
たちで議論

STEP2①で議論したことを考える会委員および  
区長・教育長へ発表

## <3校合同ワークショップでの意見> ※一部抜粋

- ・自動ドア、エレベーターの設置
- ・プールを室内化する
- ・少人数で交流できるスペース
- ・木材の使用
- ・図書館と特別教室（理科室など）のつながり
- ・休憩できる場所が欲しい



当日の発表の様子

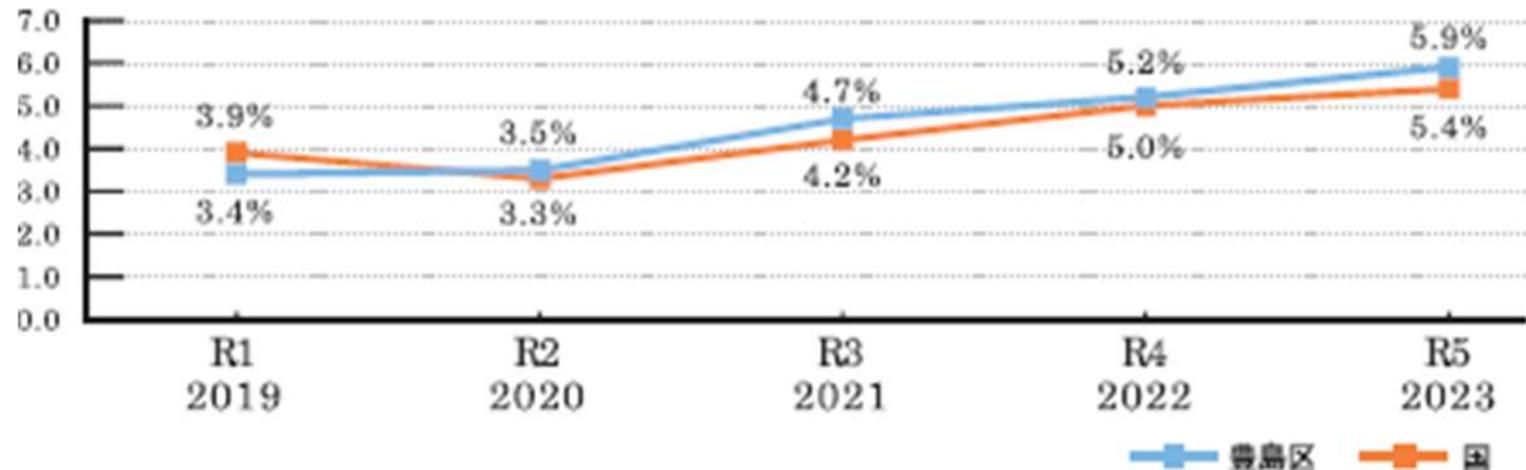


区長講評の様子

### 3. 小中連携教育について

現状・課題

中学1年生での新規不登校の出現率



#### 9年間を見通した小中連携教育

中学校への進学を機に不登校になる子どもの割合が増加傾向にあります。

小中連携教育において、小中9年間を通じた学習・生活に関する指導や、中学校教員による出前授業・部活動体験などの交流の機会により、中学校での学習や生活のイメージをつかみ、進学への希望が持てるように取り組んでいます。

今後も子どもの不安や悩みを丁寧に聞き、小中連携を推進し、自己実現を図ることのできる教育を充実させることが必要です。

## 現状・課題

### 豊島区立小学校 卒業生進路先



#### 小中連携教育による魅力ある学校づくり

区立中学校への進学率は約6割前後で推移しています。学校と保護者や地域などとの連携により、小中学校9年間を通した子供の成長をきめ細やかに支援し、魅力ある学校づくりを進めていくことが求められています。このため、小中を通した目標を明確にした授業や地域とのかかわり、同じ中学校区の小学校での日常的な交流など、小中連携教育を一層推進し、子どもたちが生き生きと学べる環境を整備することが必要です。

## 取組み

### 9年間を見通した「学習指導」「生活指導」の確立

小中連携教育推進検討会にて、区として取り組む小中連携教育の目標や方向性を示す、「小中連携教育推進方針」を策定します。また、西巣鴨中学校区・池袋中学校区を拠点とするブロックで、小中連携教育の実践を積み重ね、小中連携教育「共通プログラム」に反映していきます。さらに小中連携連絡協議会を設置し、新たな取組の情報交換、事例の効果検証を行います。

- ・小中連携教育推進協議会：今後、区として取り組む小中連携教育の目標や方向性などを検討する会。「小中連携教育推進方針」の策定を行う。
- ・小中連携連絡協議会：拠点ブロックを中心に、全中学校ブロックにおける小中連携教育の実践例を集約し、共有する会。集約した実践例を小中連携教育「共通プログラム」としてとりまとめる。



小中合同による清掃活動

## 小中連携教育「共通プログラム」の推進

下記のプログラムを実施することで、魅力ある学校づくりを推進します。

- ①授業改善プログラム...学習スタンダード（学習規律）の徹底、指導方法の統一など小中学校のブロックごとに共通ルールを作り、子どもたちが、場所・人を選ばず同じように学べる環境を作ります。また、オンラインを活用して、教職員がお互いの授業を見学し、授業改善を進めます。
- ②地域の特色プログラム...総合的な学習などの授業で地域の特色ある題材を扱い、小中を通して地域への理解と愛着を深めます。また、コミュニティ・スクールでの地域連携や、小中学校の保護者による地域の見守り、地域行事の参加など地域に根付いた活動に取り組みます。
- ③小小連携プログラム（小学校間での連携）...オンラインでの同時授業、大学連携による英語の合同学習など、同じブロックの小学校が共通の学びや体験ができるように活動を工夫します。運動会、学習発表会、展覧会などの合同行事も検討していきます。
- ④不登校対策プログラム...別室登校教室の共有、不登校対策支援員の小中での関わりなど地域の小中学校で学びの場を作ります。



中学生による小学生への学習支援

## 4. 池袋中学校ブロックについて

### <池袋中学校>

#### ●子どもたちの意識

小学生は、年上の先輩と活動することに対し、楽しいと感じている。

中学生は、小学生と一緒に活動し、小学生に頼られることに意義を感じている。

#### ●連携に対する教職員の意識について

・池袋中学校と池袋本町小学校が一体化していることで、より池袋第一小学校を意識するようになった。

・池袋第一小学校が離れていることに対する不安はない。

#### ●地域との連携

小中合同の挨拶運動や清掃活動に地域が参加したり、地域主宰の盆踊りなどのイベントに、学校が参加することで、地域で子どもたちを育てている。

## <取組状況>

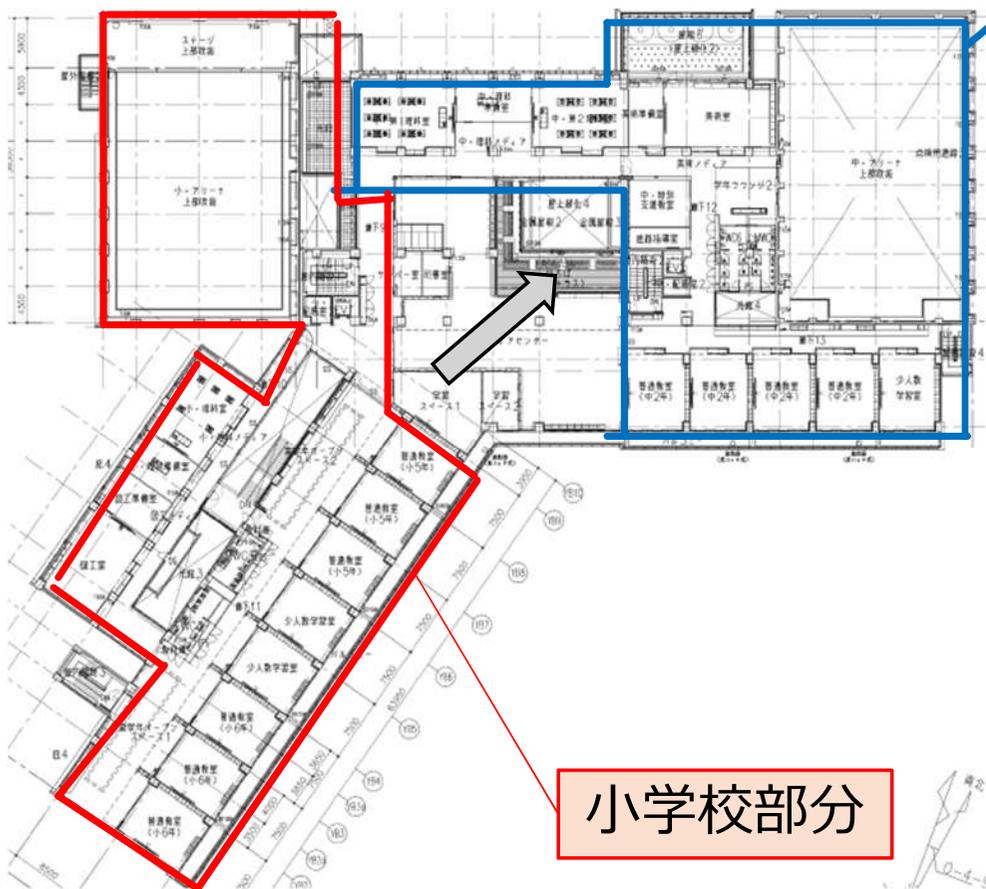
- オンラインの活用

オンラインで連携できる部分は、積極的に連携を行っている。

- 情報共有の徹底

池袋本町小学校と池袋中学校が合同で行うことは、必ず池袋第一小学校に共有し、連携の機会を平等にしている。

## <施設面>



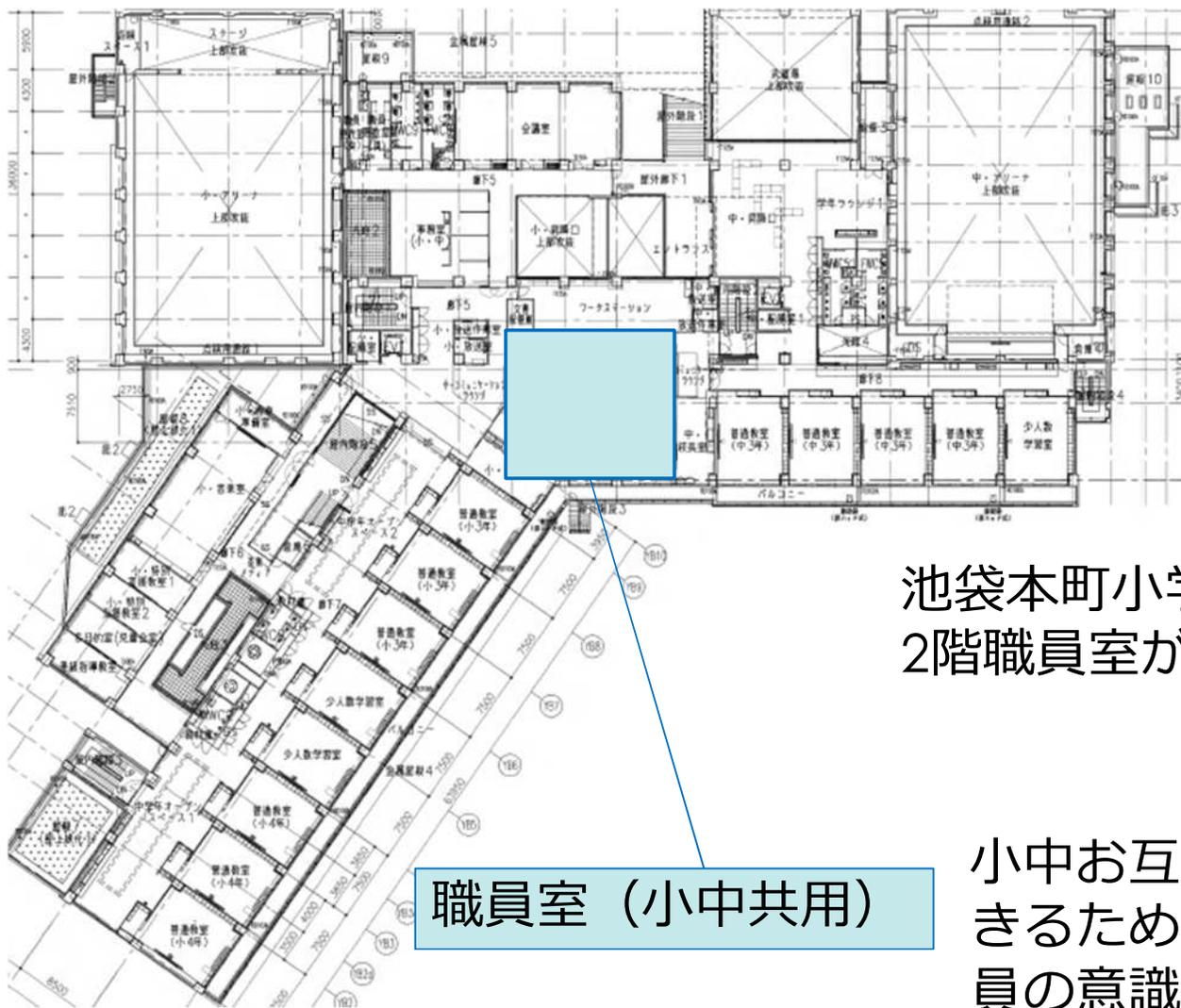
中学校部分

池袋本町小学校・池袋中学校小中連携校は、3・4階で小学校部分と中学校部分がつながっている



日常的に小学生が中学生を見て生活するため、中1ギャップの解消へつながる。

小学校部分



池袋本町小学校・池袋中学校小中連携校は、  
2階職員室が小学校・中学校共用



職員室（小中共用）

小中お互いの指導風景を見ることが  
できるため、相互理解へつながり、教職  
員の意識変化にもつながっている。

## <池袋第一小学校>

### ●児童間の交流

- ・委員会活動を池袋本町小学校と合同で実施（実施方法：オンライン）
- ・避難訓練を合同で実施（オンラインで池袋本町小学校の避難訓練を確認）
- ・池袋本町小学校の作品展示

### ●教員間の交流

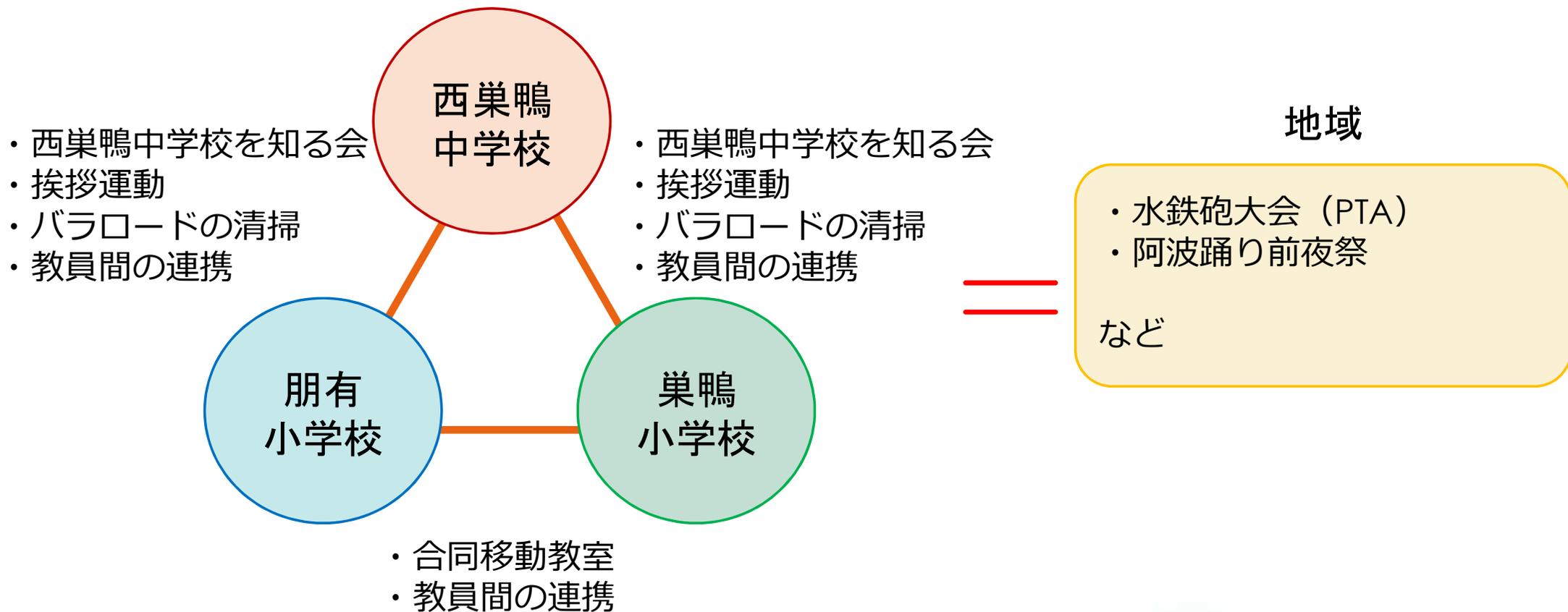
- ・年間各校1回ずつ公開授業を実施。池袋本町小学校・池袋中学校の先生が公開授業を参観し、助言や意見交換を行う。
- ・3校合同で職員研修を実施。
- ・中学進学時に学力レベルに不均衡が生じないように、ICT活用能力の共有と平準化に取り組んでいる。

### ●その他

池袋第一小学校には、広い空間があり、連携する際にいつでも迎えることができる。

# 5. 西巣鴨中学校ブロックについて

## <連携教育の現状>



## 6. 今後の取組みに関する意見交換

### <テーマ>

- 西巣鴨中学校ブロックの地域として、小中連携教育を推進していくうえで、どのような取組および機能・場所が必要なのか。